

今回は、第40回ユニセフハンド・イン・ハンド街頭募金活動の報告です。

◇ 2018年のテーマは『すべての子どもに5歳の誕生日を』

12月22日(土)、「とれったひろば・関店」で、ユニセフ(国連児童基金)の活動に賛同しての募金活動に参加しました。テーマは『すべての子どもに5歳の誕生日を』です。

今年度のハンド・イン・ハンドでは、すべての子どもたちに等しく支援を届け、5歳の誕生日を前に子どもたちが命を落とすことのない世界を実現するために、みんなと手と手をつなぐキャンペーンが実施されました。

世界の子どもたちの生存状況は、この四半世紀でめざましく改善しました。1990年に1,260万人だった乳幼児死亡数は、2016年には560万人と半数以下にまで削減されました。しかし、改善の度合いは様ではなく、子どもの死が、より貧しい地域へと急速に集中しつつあることが分かっています。さらに、子どもたちの死の大半が、安全な飲み水や食べ物、予防接種や医療へのアクセスなど、日本では当たり前にあるものが手に入らないために起きていることです。子どもたちは、貧困や紛争と隣りあわせの開発途上国に生まれ、日本などとはまったく異なる厳しい環境で生きることを強いられています。

今回の募金活動も、生活協同組合コープぎふ中濃支所の方々と一緒に行いました。小雨の降るあいにくの天候でしたが、生徒会執行部のメンバー4名が参加し、2万3千円ほどの寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。



関高校では、生徒会や部活動の有志メンバーを中心に、ボランティア活動や啓発活動、交流会など、さまざまな実践的な活動を積極的に行う予定です。